

令和3年6月25日

舞鶴市議会議長 山本 治兵衛 様

提出者 小 杉 悦 子

賛成者 石 東 悦 子

伊 田 悦 子

小 西 洋 一

JR小浜線及びJR舞鶴線の維持・活性化に係る意見書案について

上記の議案を舞鶴市議会会議規則第14条第1項の規定により別紙のとおり提出します。

JR 小浜線及び JR 舞鶴線の維持・活性化に係る意見書 (案)

本年5月、JR西日本(株)は、新型コロナウイルス感染症拡大による経営環境の悪化を理由に、利用状況に応じたダイヤ改正を行うとして、JR小浜線の大幅な減便を前提とするダイヤ改正を10月に行うと発表した。

JR小浜線は敦賀・舞鶴間を、JR舞鶴線は京都・舞鶴間を結ぶ日本海側の幹線路線であるとともに、通勤・通学や買い物等の移動手段として沿線地域の人々の暮らしを支え、産業や観光など地域振興に寄与する重要な交通機関となっている。

人口減少やマイカーの普及、高速道路網の整備等によりJR小浜線及びJR舞鶴線とも利用者は減少を続けており、本市においてもICOCAの導入等様々な利用促進事業を進めてきたが、将来にわたる持続可能な運航に危機感を抱いている。コロナ禍による旅行、出張などの大幅な減少による経営環境の急速な悪化による苦渋の決断とはいえ、今回の大幅な減便は誠に遺憾であり、到底容認できるものではない。

地方の鉄道路線の維持は、住民の足を守り、「移動の権利・交通権」を保障するとともに、地方再生の資源を守り、大都市と地方の格差拡大に歯止めをかける上でも重要な課題である。また鉄道は、他の交通機関より環境負荷が小さいという特徴を持っており、地方の鉄道路線網を維持し引き継ぐことは、今日の重要な行政課題でもあり、未来への責任です。

このような観点から、地方在来線であるJR小浜線及びJR舞鶴線の維持・活性化のため、国として以下の対策を講じるよう強く求める。

記

- 1 JR小浜線及びJR舞鶴線の安定的な維持・活性化を図るため、公共交通体系を維持し、環境を守るという観点から、「公共交通基金」(仮称)を創設するなど、地方の鉄道網を維持する財政的な基盤を整えること。

- 2 生活路線となっている地方在来線においては、産業や観光などの地域振興に大きな影響を与えることから、ダイヤの減便や駅の無人化等の急速な合理化を一方向的にすすめることがないよう、鉄道事業を管轄する国として厳しく監視・監督すること。
- 3 大規模な財政負担を地方自治体に押し付け、地下水系の破壊や大量の残土処理の課題等を生み出し、結果として在来線を切り捨てることにつながる東京・大阪間のリニア新幹線計画や地方への新幹線網の延長政策は、直ちに見直すこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年6月29日

衆議院議長	大島理森	様
参議院議長	山東昭子	様
内閣総理大臣	菅義偉	様
副総理兼財務大臣	麻生太郎	様
総務大臣	武田良太	様
国土交通大臣	赤羽一嘉	様
内閣官房長官	加藤勝信	様

舞鶴市議会議長 山本治兵衛